

ヨシでびわ湖を守る ネットワーク通信

VOL.

26



ヨシ原を飛び回るジョウビタキの雄

撮影:TO

冬のおとずれと共に飛来する冬鳥。ヨシ原にも様々な鳥たちが越冬にやってきます。グレーの頭に目の周辺が黒く、おなかの橙色が愛らしい鳥を発見！ジョウビタキという鳥でした。鳴き声が甲高く「キツキツ」と聞こえ、続いて打撃音の「カツカツ」と聞こえてきます。調べて見ると、この打撃音が火を焚くときの火打ち石を打ち合わせる音に似ていることから「火焚(ヒタキ)」の名が付いたそうです。和名「尉ビタキ」と言われ「尉」は銀髪を意味するそうです。けっこう近づいても逃げ出すことなく撮影に成功。野鳥としては警戒心の薄い鳥でした。また一つヨシ原の生物多様性に出会うことが出来た瞬間です。

びわ湖を知る ■ 問題

渡り鳥の中で冬鳥と呼ばれる鳥はどの鳥でしょうか？

- ① ツバメ
- ② オオヨシキリ
- ③ キビタキ
- ④ キンクロハジロ

特集 1ページ

滋賀県立琵琶湖博物館 上席総括学芸員



マーク・ジョセフ・グライガー 様より

和訳：同館 特別研究員 中西 康介 様

写真：滋賀県立琵琶湖博物館

琵琶湖で最も魅力的で気持ち悪い生き物～寄生虫たち

【寄生虫の魅力】

寄生虫と聞き、そのグロテスクさにワクワクする人がいるかもしれませんが、熱狂的な寄生虫ファンはほとんどいません。みなさんの多くは、自分のキッチンで調理している魚やレストランで出された魚などから「虫」を見つけたとき、気持ち悪くなってひるんでしまうでしょう。ところが私は、このような「キッチンの寄生虫」を収集して管理しています。琵琶湖博物館には、琵琶湖や流域の魚類や他の水生生物から得られた豊富な寄生虫コレクションがありますが、その一角の小さなスペースにこのような寄生虫が保管されています。寄生虫たちは、寄生生活のために物理的、生理的な様々な適応力を持っていて、複雑な生活史を送るものもあります。私は動物学者として、このような生き物が好きです。

【寄生虫の多様性】

寄生虫は珍しい生き物ではなく、変わった生き物でもありません。それどころか、彼らは自然界にありふれた存在です。すべての種類の野生生物には何かしらの寄生虫がいます。寄生虫をもっていない個体は、おそらくごくわずかです。例えば琵琶湖では、63種・亜種の魚類から約150種の寄生虫が記録されています。自然界のすべての大型生物は、宿主と、寄生虫を含む小さな共生者から成る「生物群集」といえます。しかし、寄生虫は相利共生（宿主に利益がある）や片利共生（宿主に利益も害もない）と違って、宿主に対して明らかな害をおよぼします。最近リニューアルされた琵琶湖博物館の「生き物コレクション」という展示では、吸虫（単生類、二生類、楯吸虫類）、サナダムシ、線虫、鉤頭虫、寄生性甲殻類などの身近にすむ多くの魚類寄生虫が展示されています。無脊椎動物であるエビ、貝、昆虫の幼虫、ミジンコでさえ、それぞれ寄生虫をもっています。あるいは、これらの生物は寄生虫の幼虫の中間宿主として使われます。例えば、すべての二生類の幼虫は貝を利用し、成虫は脊椎動物を利用します。



『フタゴムシの仲間
（単生類）』



『カジコウトウチュウ
（鉤頭虫）』



『ナマズの浮袋にすむ大型吸虫
（二生類）』



『イカリムシ
（甲殻類ケンミジンコ目）』

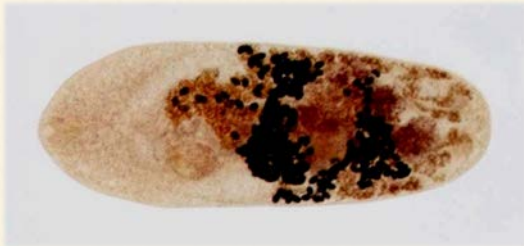
特集 2ページ

【人間にも寄生する2種類】

寄生虫の幼虫はどのようにして終宿主までたどり着くのでしょうか。二生類の場合、幼虫が第一中間宿主である貝から泳ぎ出て第二中間宿主である魚類に移動し、その魚類を終宿主である哺乳類や鳥類などが食べることで達成されます。

琵琶湖にいる寄生虫の中で、人間に寄生するのは横川吸虫などのメタゴニムス属と肝吸虫ですが、この2種類は上記のような生活史を送っています。これら

の第一中間宿主は、それぞれカワニナとマメタニシです。この2種類の寄生虫の幼虫は、様々な淡水魚のウロコの下や、肉にもぐりこんで生きているため、人間が琵琶湖でとれた魚を生で食べると、これらの吸虫は人体に移動することができます。しかし、食文化の変化や、刺身で主に海産魚を食べることが一般的になったため、現在では琵琶湖周辺で人間がこれらの寄生虫に感染することはめったになくなりました。



『横川吸虫』



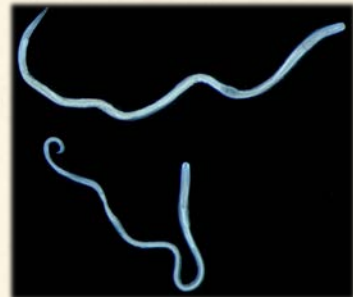
『肝吸虫』

【固有種と外来種】

琵琶湖は固有種の魚類がいることで有名ですが、外来魚でも悪名が高い湖です。魚類だけでなく、魚類寄生虫のうち、おそらく5種が琵琶湖固有種です。固有種の魚類に寄生する固有種の魚類寄生虫は、ビワコオオナマズに寄生するサナダムシ1種だけだと考えられています。この種以外の固有種2種、サナダムシと線虫は、琵琶湖で捕獲され日本各地に放流されたアユを追跡する指標とされてきました。一方、琵琶湖にはウナギ、カムルチー、ワカサギなどに寄生する約10種の外来種の魚類寄生虫がいるといわれています。興味深いことに、ブルーギルやオオクチバスと一緒に琵琶湖に侵入した寄生虫は北米原産の単生類だけです。この単生類は魚類の体の外側に寄生していて、中間宿主をもたず、単純な生活史を送っています。



『アユハイトウジョウチュウ
(琵琶湖固有種のサナダムシの1種)』



『カムルチーに寄生する線虫(外来種)』

【ちょっとしたアドバイス】

上記の2種の吸虫以外に、琵琶湖の水生生物の寄生虫(とくにその成虫)で人間に害をあたえるものはいません。(ただし、サワガニやモズガニが中間宿主である肺吸虫も人間に感染する可能性があります。生で食べないでください!)。食べ物の中の寄生虫のことを過度に心配するのではなく、安全に食べることを考えましょう。琵琶湖の伝統料理には、加熱調理したおいしい魚料理がたくさんあります。寄生虫は調理されると死んでしまうのです。

ネットワーク 広場

ヨシ葺き屋根 葭 留
真田 陽子 様より

びわ湖とつながる「ヨシ葺き屋根の家」

長い間空き家だった茅葺の家を譲り受けて、住まいとするため改修工事をすすめています。屋根は西の湖のヨシを使って葺き替えをしました。仕上げの刈り取りを終えた屋根は、太陽の光を反射し、金色に輝きます。「お屋根出来たよー！」と、1本1本のヨシが内に秘めた光を放って、屋根の完成を周囲に知らせてくれているかのようです。こんなにも美しいヨシたちが、これから家を雨露から守ってくれると思うのもったいないなと思います。だから、もっとその美しさや頑張りや、色々な人に知ってもらえるようにするからねと約束します。

滋賀で茅葺屋根を見かけると、その多くがヨシで葺かれています。私はそんなヨシ葺き屋根の修理を仕事としています。

1月から3月、指先が凍るような寒い時期に、一年分の屋根の材料を確保するためヨシの刈り取りをします。そして、3月の末にヨシ焼きをすると、辺り一面真っ黒の大地に還ります。そして真っ黒の中からツンツンツンとヨシがいつせいに芽を出します。夏に向けてぐんぐん成長し3~4mにもなります。そして、そこは多くの生きものたちの棲み家となり、命を育む大切な場所となります。寒くなるとヨシは枯れて葉を落とし刈り取りの時期を迎えます。刈り取られたヨシは、材料としての出番を倉庫で待っています。



毎年ヨシを刈り取ることで、屋根の修理に必要な材料は、必要になる時には自然から与えていただけです。しかもヨシは太陽からのエネルギーだけで成長し、その上湿地に根を張って、私たちの汚した水をきれいにし、土をきれいにし、二酸化炭素を酸素に変えながら成長しているのです。ヨシの成長を見ていると、必死に水や土や空気をきれいにしてくれているように感じます。

ヨシ葺きの屋根は1本1本のヨシが寄り集まり厚みとなって出来ていて、家を風や雨から守っていくうちに、1本1本が少しずつ短くなり、屋根の厚みが減っていき、やがて修理の時期を迎えます。修理する前の屋根に上がり、ヨシの先っぽを手で触ると、風化していてポロポロと折れてしまいます。葺いてから長い年月が経っている屋根は、ヨシは土のようになり、上に苔が生えていることもあります。ヨシは時間とともに屋根材としての役割を終えて、静かに地に還っていくのです。美しい自然の仕組みです。

竪穴式住居の時代から日本には茅葺きの屋根がありました。身の回りにある木材を使い、身の回りにある茅で雨露をしのぐ。ごくごく自然なことであり、でもそのことでお互いに守り合って人と自然は生きて来たのです。

わが家の屋根の輝きを見た時に、ヨシ刈りの時期に見る、陽に当たったヨシの輝きと重なりました。周囲の方にもヨシ葺き屋根を見て、その後にあるヨシの広がる西の湖や、美しい琵琶湖の景色を思い浮かべてもらえたらと思います。琵琶湖とつながる屋根の家、大切に住まいとしたいと思います。

ネットワーク アルバム

ヨシ刈りシーズン到来!

伊庭内湖ヨシ刈りボランティアのようす

開催日:2016年12月3日(土)



『刈り取り前のヨシ原』



ネットワーク会員18社 166名が参加

地元地域の人、ネットワークで参加する人、行政の人、大学生の姿も・・・ 様々な人がヨシ原に集合。

抜けるような青空の下、今シーズンのヨシ刈りボランティアのスタートです。



社員で、家族で、親子で
コミュニケーションの場として・・・



『刈り取りの成果』




『作業の後の
トン汁とおにぎり』

《 西の湖ヨシ刈りボランティア 》2回開催

- 1回目 2017年2月11日(土)
10:00~12:00 ヨシ刈り活動
午後~ ヨシ原のバイオマス調査
- 2回目 2017年2月25日(土)
10:00~12:00 ヨシ刈り活動
午後~ ヨシ原のバイオマス調査

※※ バイオマス調査とは ※※
琵琶湖博物館 学芸員さん主導のもと、
ヨシの炭素量(CO2)調査を行います。

興味のある方連絡下さい。 **お知らせ**

びわ湖を知る ■ 解答 

④ キンクロハジロ

オスの体の色は白黒がはっきりしており
ヨシ原周辺でも見かけられます。

みんなの リエデン



REEDEN
PREMIUM

落ち着いた黒と白の表紙に輝く
美しい「にほんのかたち」!

ReEDEN PREMIUM A5/A6ノート

〈製品仕様〉

■A5ノート

寸法: 148 × 210mm

罫線: 5mm方眼罫

枚数: 50枚(100ページ)

価格: 250円(税別)

■A6ノート

寸法: 105 × 148mm

罫線: 5mm方眼罫

枚数: 40枚(80ページ)

加工: ミシン目入り

価格: 185円(税別)



麻の葉紋様

麻は丈夫で育ちやすくまっすぐに伸びることから、子供の健やかな成長を願って産着などに使われていた紋様です。



青海波紋様

無限に広がる大海原の絶え間ない静かな波のように、穏やかな幸せがいつまでも続くように願いを込めた紋様です。



とび太くんヨシノート(黒)▼

ノートを傾けると光りの反射で表紙に無数のとび太くんが光を放ち、姿をあらわします。



とび太くんマスキングテープ▲



モノトーンなとび太くんが レトロモダンな魅力を放つ!

交通安全 × 環境保全

滋賀ではお馴染みの「飛び出し注意」を呼びかけるとび太くんと、ヨシでびわ湖を守るリエデンのコラボ第2弾! 待望のマステとノートの2アイテムを追加!